

施策評価シート(令和元年度)

(基本施策の大綱) 3. 交通拠点性を生かした都市活力の向上

(基本施策) (3) 農林業の振興

(評価担当者)

産業建設部長 大澤 哲也

基本施策が目指す姿

農林業の担い手が、効率的かつ安定した経営を営んでいます。

関連する分野別計画

成果指標

	単位	現状値		実績値					目標値	
				H29	H30	R1	R2	R3		
1	新規認定農業者及び認定新規就農者の数	人	-	-	0	3	6			10
2	6次産業化や農商連携に取り組む認定農業者数	人	10	H27	10	10	10			15
3	利用間伐施業面積(累計)	ha	-	-	74	152	200			300
4										
5										

市民アンケート調査

項目	現状値 [H27]	1次 [H30]	2次 [R2]	市民アンケートの考察
1 農業・林業が盛んに行われている	重要度	0.93	0.78	農林業の振興については、前回より重要度は大きく下降している。一方で、満足度は低く、前回より若干下降していることから、引き続き、農林業振興施策を展開し、重要度、満足度の向上に努める必要がある。
	満足度	0.38	0.39	
2	重要度			
	満足度			
3	重要度			
	満足度			
4	重要度			
	満足度			
5	重要度			
	満足度			

総合評価

総合判定	左記の総合判定とした理由
B まずまず進んでいる	<p>農業においては、農業経営体の育成・確保、及び農業経営の安定化については認定農業者や営農組織の支援、獣害対策など、高付加価値農業の展開については、特産品のPRやブランド化を進め、まずまずの進捗が図れており、個別判定をBとしている。林業においては、林業事業体の実施する生産活動の支援など、まずまずの進捗が図れており、個別判定をBとしている。</p> <p>基本施策に設定した成果指標3指標の内、2指標は伸びており、基本施策が目指す姿は、まずまず進んでいると考えられることから、総合判定をBとした。</p>

反省点・課題

農業においては、新規就農者の確保及び集落営農組織の継続が課題となっており、田、茶畑での農用地の利用集積を働きかけるとともに、中山間地域での集積を促進するための取組や検討が必要である。また、6次産業化や農商連携、農福連携についても検討を進める必要がある。

林業においては、森林所有者の森林整備に対する関心・意識が薄れてきている。相続等による不在地主も多く、境界が不明などの理由により、林業事業体が森林整備を行うための森林所有者との合意を得るのに時間を要するなど、施業の集約化・団地化を図ることが難しい状況が続いている。

今後の展開方針

農業においては、経営の安定化や生産性の向上等を図るため、継続して集約化や6次産業化、農福連携を促進するとともに、引き続き意欲のある担い手農家・経営組織の支援を行う。また、農商連携を進め、特産品としての農産物のブランド化を進めていく。

林業においては、引き続き林業生産活動を支援するとともに、林業事業体が必要とする情報提供、助言を行っていく。また、森林経営管理制度を確実に進めることで、事業量を確保し、林業事業体の経営の安定化に努める。

(施策の方向に関する評価)

施策の方向 農業経営体の育成・確保							
B まずはまず進んでいる	活動	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】 農業の担い手として中心的な役割を果たす認定農業者の更新認定10件(主穀、きのこ、養豚、茶)、新規認定2件(主穀、水稲・野菜複合)、認定新規就農者の新規認定1件(水稲)を行った。また、営農組織の持続的な支援を図るとともに、集団転作に取り組む営農組合等3組織に対し、補助金を交付した。	評価	【左記の活動により、施策は推進できているか】 人・農地プラン作成事業及び団体支援事業により現在認定されている農業者や営農組織の維持を図ることができている。新規就農者のさらなる確保や集落営農組織の発展のための支援といった課題もあるが、農業経営体の育成・確保はまずはまず推進できている。			
		関連事業		番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]
		6075	人・農地プラン作成事業	標	154 / 154	B	B
		6014	団体支援事業(生産調整対策事業)	標	11,236 / 11,048	A	A
事業以外の取組		内容				活動	成果

施策の方向 農業経営の安定化							
B まずはまず進んでいる	活動	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】 獣害被害防止対策事業として農作物の被害防止を図るため電気柵等の補助や出前講座を行うとともに、猟友会亀山支部への捕獲委託等獣害対策に取り組んだ。また、市防除計画に基づき、特定外来生物(アライグマ等)の駆除に取り組む市民に捕獲檻を貸し出した。さらに、管内町地内の農業用排水路のブロック積の崩壊による改修工事も国補助を受け工事が完了した。	評価	【左記の活動により、施策は推進できているか】 電気柵等の補助や出前講座、捕獲委託等により、獣害対策を進めるとともに、捕獲檻の貸し出しによりアライグマによる農作物被害の軽減も併せて進めている。また、農業用排水路の改修工事も国補助で完了し、農業経営の安定化は、まずはまず推進できている。			
		関連事業		番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]
		6009-1	有害鳥獣対策事業(防止)	標	26,377 / 22,573	B	B
		6009-2	有害鳥獣対策事業(駆除)	標	16 / 16	A	A
		6007	一般事業(農業振興事業)	標	10,117 / 9,310	A	A
		6098	団体営かんがい排水事業	標	12,000 / 12,000	A	A
事業以外の取組		内容				活動	成果

施策の方向 高付加価値農業の展開							
B まずはまず進んでいる	活動	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】 新たな地域特産品の発掘・研究、6次産業化の展開、農商連携によるブランド化、付加価値の向上を図るため、特産品フェアでのPRや、市内の飲食店とタイアップし新商品開発に取り組んだ。中山間地域において、地域資源を生かした花蓮まつり、ほたる祭りなどを通じて地域活性化に取り組む団体の支援を行なった。	評価	【左記の活動により、施策は推進できているか】 中山間地域活性化事業を通じて、都市住民や地域住民との交流を通じた農業の展開を図るとともに、特産品フェアなどへの出展により、亀山の特産品を全国的にPRを行い、販売拡大を図っている。さらに今後農商連携により特産品のブランド化に取り組む予定もしており、高付加価値農業の展開はまずはまず推進できている。			
		関連事業		番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]
		6035	特産振興事業	標	3,077 / 2,893	A	A
		6069	ふれあい農園管理事業	標	675 / 588	B	B
		6052	中山間地域活性化事業	標	750 / 750	A	A
事業以外の取組		内容				活動	成果

施策の方向		林業経営の安定化							
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】			【左記の活動により、施策は推進できているか】				
B	活動	林業事業体の森林施業の集約化・団地化が図られるよう、2林業事業体に対し森林経営計画作成推進事業補助金を交付し、間伐作業、作業路開設、木材搬出に対する利用間伐事業等補助金を交付した。また地域材を活用した公共建築物(亀山南小学校区放課後児童クラブ、西野運動公園屋外トイレ)の木質化を図ることができた。			林業事業体に対し、国・県の造林補助金に加え、市の上乗せ補助により、森林所有者の長期施業委託による負担軽減、利用間伐が進み林業事業体の経営の安定化の一助となった。また地域材による公共建築物への木材利用が進んでおり、林業経営の安定化に向け、まずまず推進できている。				
		まずまず進んでいる							
関連事業	番号	事務事業の名称			区分	予算額/決算額 [千円]		活動	成果
	17063	林業生産活動支援事業			主	13,500 / 13,500		A	B
	19008	森林経営管理事業			主	12,600 / 12,562		A	A
	12008	森林環境整備基金積立金			標	943 / 896		A	A
	6022	一般事業(林業振興事業)			標	1,165 / 1,164		A	A
事業以外の取組	内容							活動	成果